



## 第 1210 回例会報告

平成 22 年 2 月 3 日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 長崎政直

## 中間評価

おかげさまで2010-2011期も7ヶ月が無事経過しました。会員の皆様のご協力に感謝しております。

基本方針で、「例会を大切に、出席率の向上に努力しよう。」「委員会活動を活発にしよう。」「全事業に関心をもち、参加しよう」を掲げ、重点事業に「出席率の向上」「自己研鑽道場」「会員増強」「諏訪湖ビジョンの検討」「新たなマッチング・グラントの検討」「地域青少年活動に対する支援及び交流」「会報・広報の電子化」「CLP座標を元に組織づくりと運営、会則整備」といたしました。

半期を終えて、事業を振り返ると、「例会」はそれぞれ担当する委員会の皆さん、工夫を重ね、卓話を頂くにしても、委員会の目的にあった講師を選ばれ、充実して来ていると思います。

「出席率」も微増ですが、クラブ奉仕委員会のご努力で、向上しています。

「自己研鑽道場」については、委員会主導の元、様々な角度から、何回かの例会で、職業倫理について刺激的に提示されています。

「会員増強」は、会員それぞれに御努力いただいておりますが、時代状況に似て、なかなか光が見えません。我が諏訪湖ロータリークラブの素晴らしさのひたむきなアピールしか手はないと思っています。執拗に働きかければ、いつか実を結ぶと信じて、諦めずご努力をお願いします。

「諏訪湖ビジョン」については、次回の社会奉仕委員会例会にて、手探りですが、新しい里山計画が示されそうです。尚、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会の30周年が、2月19日に開催され、おなじみの沖野先生や花里先生の講演が予定され、今後の浄化運動について示唆があるものと思います。ご都合がつか方は、是非、ご出席願います。

「セブ島支援に続く新たな国際奉仕」についても、これまでの活動について委員会検討され、何がしかの

提案がなされると思っています。

社会奉仕・国際奉仕に関しては、どちらかという25年の活動の歩みを踏まえて、次なる中・長期計画へ踏み出す年だと思っています。

「地域青少年との交流」については、3月24日例会において、LYRA参加の青年達の交流が目論まれています。地区主導のLYRAでしたが、開催後、いったいどんな効果を参加した青年達にもたらしたか検証する意味もあり、後半の重点事業と考えています。当時お誘いいただいた青年達にお声掛けいただくなど、全会員のご協力をお願いいたします。

「会報・広報の電子化」はかなりの進展を見せました。

「CLP・会則検討」の結果は、次年度以降の会の運営に生かされること願っています。

さて、4・5・6月は、予定されているパートナーがある事業を除いて、3月までに、主要な課題は終了して、次年度への引継ぎ、次年度計画の立案に十分な時間を用意したいと思っております。残された課題について、あと2ヶ月、最後のご努力をお願いします。

## ◇幹事報告◇

1. 以下の文書を受領いたしました。

- ①国際ロータリー・ロータリー財団「2009-10年度年次報告」を受領しました。メールボックス上の書架にて閲覧して下さい。
- ②ロータリーの友2月号・ガバナー月信8号を配布致しました。
- ③ロータリー財団大口寄付者になられた小松孝弘会員に記念品クリスタルとバッチとペンダントが財団から

## ■ニコニコBOX

|     |          |
|-----|----------|
| 28名 | 41,000円  |
| 累計  | 833,000円 |
| 目標額 | 130万円    |
| 達成率 | 64.0%    |

## ■出席報告

|      |       |
|------|-------|
| 会員数  | 35名   |
| 出席対象 | 35名   |
| 出席者数 | 28名   |
| 出席率  | 80.0% |
| 前回修正 | 88.5% |

## ■今週のことば

孫娘が、統計グラフコンクールで知事賞をいただけてきました。

林洋三

## ■次回のプログラム

2月17日  
八十二銀行執行役員  
宮下諏訪支店長卓話  
職業奉仕委員会



贈られました。

2.連絡事項

- ①3月理事会の予定日を例会行事の都合により3月17日(木)午後6時30分開催に変更致します。(2月理事会は予定日24日に開催します。)
- ②国際ロータリー次年度テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」横断幕を手配致しました。
- ③故三澤会員の追悼会開催にあたり奥様から多額の心付けを頂きましたのでニコニコボックスにて処理致しました。

八幡文登元会員が1月末にご逝去なされ 故人の遺言により近親者にて葬儀を済ませたとの情報を得ました。故人のご冥福をお祈り致します。

ロータリー財団寄付

昨年12月の寄付により10,000ドルを超えて諏訪湖RCクラブで渡邊さんに続き2人目の大口寄付者になり、クリスタル楯とダイヤ入りピンバッチと妻用のペンダントを戴きました。



社会奉仕の基本原則である「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の論理原則に基づき実践したに他なりません。



諏訪湖RCクラブは2600地区・諏訪グループの中でも規模からして寄付額は多いです

財団は寄付をするだけでなく補助金を利用する事もクラブとして重要な事と思えます。

今後も財団・米山とも機会ある時には寄付を続けて行きたいと思っております。 小松孝弘会員

1210 回例会 諏訪市長新春卓話

クラブ奉仕委員会

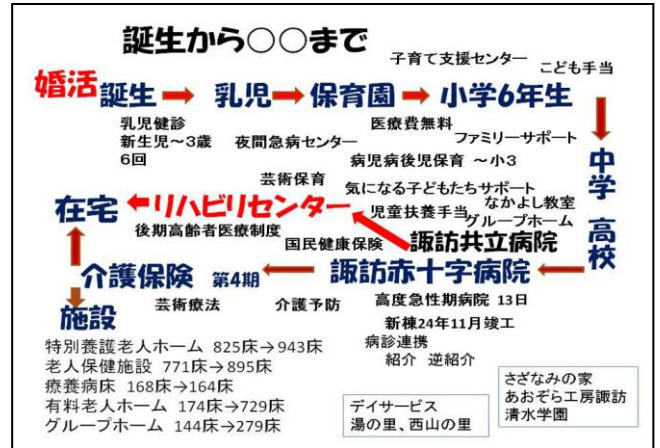
山田勝文諏訪市長をお迎えし恒例の新春卓話をお聞きしました。お話しいただいた事の一部を要約で記載いたします



●誕生から〇〇まで、福祉を大切にします

諏訪市の年齢別人口構成は、典型的少子化傾向とは言えないが、やがては少子化することを予測し、子育て

支援、子供の福祉を大切に進めていきます。



●安全安心な暮らしを守ります

諏訪警察署新設、豊田駐在所の交番格上げ、後山地区への携帯エリアの拡充がされました。

防災時伝達方法は、防災携帯メール、市ホームページの充実、国交省、県の情報の速やかな伝達などができるようになりました。

また、市施設の耐震診断の結果、新川沿い豊田、湖南大熊、の三保育園の結果はゆゆしきものがあり、本年より保育園の統合と全面改築を進めます。また豊田小学校の改築も進めます。

●開発整備事業

飯島土地区画整理事業、駅前、駅周辺整備事業、諏訪湖スタジアムスコアボード改修、新し尿施設建設事業、憩いの杜整備事業などを着々と進めています

●観光活性化事業

御柱祭は、大変な経済効果を得ました。小宮祭も良い結果です。信州ディストネーションキャンペーンも効果大でした。こうしたことから仕掛ける観光の大切さを実感しています。

●市民との協働

地区の要望を受け、原材料を市が支給し、労力を地区から提供いただく方法は、赤沼区清水川沿い柵の設置、普門寺区水路改修など大きな効果を上げています

●わがまち諏訪のまちづくり

おらほの街づくり、辻と小径のまちづくりから始まった街づくりは、アートなまちづくりへと次の大きなステップが期待されます。

たくさんお話をいただきましたが紙面の都合で割愛させていただきます。お話しの内容を示すパワーポイントをいただいています。ご入用の方は広報委員会までお申し出ください

本日、乗ってこられたのが、トヨタから提供を受けたプラグインハイブリッド車です。

1回の充電で25kmほど電気で走り、燃費はなんと0.50km位とのことです。

